

第24回美里町中高生アメリカ派遣

国際友好の親善大使17人、ウィノナ市を訪問

町では国際社会に貢献できる人材を育成するため、美里町国際交流協会との共催による中高生アメリカ派遣事業を実施しています。姉妹都市である米国ミネソタ州ウィノナ市との学生同士の交流は、国際友好や異文化理解を深めることに加え、生きた英会話を学ぶ貴重な機会として、英語教育の重要な役割を担っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年以降中止していた派遣事業ですが、4年ぶりに再開しました。美里町国際交流協会会長の鎌田裕明氏を団長に、選考会で選ばれた8人の中学生と、小牛田農林高校生3人、同行者6人の総勢17人が親善大使として10月4日から12日まで米国ミネソタ州を訪問しました。

親善大使の皆さんウィノナ市役所を表敬訪問し、スコット・シャーマン市長から歓迎の挨拶を受けました。親善大使を代表し、南郷中学校佐藤音和さんが美里町長からの親書を読み上げました。その日は、各学校を訪問し、盛大な歓迎を受けました。中高生はホストファミリーと一緒に学校生活を体験し、ウィノナ市の人々と友好を深めるとともに、アメリカの文化を学びました。



市役所にて町長からの親書を読む南郷中学校3年佐藤音和さん



ウィノナシニアハイスクール（高校）にて全校生徒による盛大な歓迎



お別れの日、ホストファミリーと記念写真



ハロウィンパーティーで南中ソーランを披露